

# 復興に駆ける！

第 45 号  
平成 28 年 3 月 23 日発行  
岩手県立  
生涯学習推進センター  
TEL 0198 - 27 - 4555

◇ 今回はこの方を紹介します。

## NPO法人 子どもグリーフサポートステーション 大塚 光太郎(おおつか こうたろう) さん



お話を聞きした大塚さん

NPO法人子どもグリーフサポートステーションは、平成 24 年 11 月より活動を開始した。親や大切な人との死別などの喪失体験をし、グリーフ(悲嘆・愛惜)を抱えた子どもとその家族に対して、グリーフサポートやソーシャルサポートの活動を行っている。本部は仙台市にあり、岩手、宮城、福島の 3 県で活動を行っている。本県では陸前高田市(あしなが育英会陸前高田レインボーハウス会場)で毎月 2 回、それ以外にも県の被災遺児家庭支援事業として沿岸広域振興局保健福祉環境部と共に、宮古市、釜石市(各地区合同庁舎会場)で 2 ヶ月に 1 回程度、盛岡市(ふれあいランド岩手会場)で半年に 1 回程度「出張プログラム」を開催している。

大塚さんは埼玉県川越市の出身で、大学在学時の 2008 年、何かボランティアに関わる活動がしたいと「あしなが育英会」の活動に参加するようになった。その後、NGO 団体にてインターンシップを経験し、東日本大震災発生後、その団体を通じて石巻市に入ってボランティア活動をするようになった。それから立教大学コミュニティ福祉学部東日本大震災復興支援プロジェクトのメンバーとして月に 1 回以上東北地方に足を運び、2013 年 4 月からは「子どもグリーフサポートステーション」の職員となり、陸前高田市に定住して活動を展開している。

大塚さんのモットーは「教えていただく」である。支援者としてたくさんの方々と関わりを持ちながら、その方々が一体何に困っているのかを教えていただき、その方々に寄り添いながら解決に向け一緒に考えていくようにしている。そのために、グリーフプログラム活動のない日は市内を積極的に回り、住民の方々と交流する機会を設けるよう心掛けている。

「子どもからお年寄りまでそれぞれが抱える悩みを、地域みんなで解決に向け支えていけるコミュニティの構築を目指し、これからは陸前高田市に住み、お手伝いさせていただきたい」と語る大塚さんから強い信念を感じた。

(※3月8日、あしなが育英会 陸前高田レインボーハウスにて三橋が取材)

### 連絡先

NPO法人子どもグリーフサポートステーション  
TEL: 022-796-2710  
Email: info@cgss.jp  
HP: <http://www.cgss.jp/>